

社会的養育経験者等への意見聴取について

大阪市社会的養育推進計画を推進していく際の施策決定に当たっては、当事者である子ども（社会的養護経験者を含む。）からの意見を聴取し、意見を踏まえたうえで施策判断し、実施をしていくことが大切である。

そこで、当事者であるこどもの意見について、「どうしてそう思う？」などの定性的な掘り下げまで可能なインタビュー形式にて、意見聴取を以下のとおり実施することとし、今般策定した計画を見直していく際には、意見聴取の結果を最大限反映することとする。

○社会的養護経験者向けインタビュー

①大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部を通じてのインタビュー

（大阪府と合同実施）

対象：平成 31 年 3 月 31 日までに退所（自立）した施設、里親等出身者

（内訳）児童養護経験者 5 名、里親経験者 1 名、ファミリーホーム経験者 1 名
男性 5 名、女性 2 名

期間：令和元年 11 月 2 日（土）及び 11 月 16 日（土）12:00～17:00

場所：大阪市立社会福祉センター会議室

内容：平成 28 年 7～8 月にかけて大阪府下 3 府市で実施した「児童養護施設退所児童等の実態調査」の項目、回答結果を基に、1 対 1 形式でインタビューを実施。

②里親・ファミリーホームを通じてのインタビュー

対象：平成 31 年 3 月 31 日までに退所（自立）した里親・ファミリーホーム出身者

（内訳）里親経験者 4 名、ファミリーホーム経験者 5 名
男性 3 名、女性 6 名

期間：令和元年 11 月 5 日（火）～11 月 15 日（金）

場所：各出身里親宅・ファミリーホーム

内容：①に同じ

③母子生活支援施設を通じてのインタビュー

対象：平成 31 年 3 月 31 日までに退所（自立）した母子生活支援施設出身の子ども
（内訳）10 名（男性 4 名、女性 6 名）（各施設 2～3 名）

日時：令和元年 11 月 25 日（月）～11 月 30 日（土）

場所：母子生活支援施設 4 施設

内容：「母子生活支援施設出身者へのインタビュー」項目について、1 対 1 形式でインタビューを実施。

また、意見箱を設置していない里親・ファミリーホームに入所している児童が、困ったときに困ったことをどのように表明しているのか、現状に対しどう感じているかを把握するため、里親・ファミリーホームにおいて生活している中学校を卒業された方に対し、下記のとおり生活アンケートを実施することとした。この聴取結果についても、インタビュー結果同様、計画見直しの際に最大限反映させるものとする。

○生活アンケート

対象：令和元年 11 月 1 日現在、里親・ファミリーホームにおいて生活している中学校を卒業された方 かつ、大阪市（南部）こども相談センターが担当している方
（内訳）里親 28名、ファミリーホーム 27名
期間：令和元年 10月 24 日（木）～11 月 15日（金）
内容：「生活アンケート」項目のとおり

インタビューの流れ（案）

1. 自己紹介（事務局）、本日の流れについて ……2 分
 - ・3 年前の調査結果をベースに、回答者自身はどうだったかを質問
 - ・必須回答項目につき始めに質問し、回答者の思いや会話の流れにより掘り下げを行う

2. インタビュー実施の背景 ……3 分
 - ・社会的養護の現状（施設の小規模化・地域分散化の流れ、里親委託の推進など）
 - ・こどもの権利擁護について
 - ・児童相談所について（虐待通告の増加、職員の増員など）

について、まずは説明。回答者から質問や意見表明があれば、以降のインタビュー項目と併せて聞き取りを行う。

3. インタビュー実施 ※項目の詳細は p2 以降 ……memo と合わせ 4 5 分
 - (1) 回答者の属性について
 - ：年齢、退所時期、入所期間
 - (2) 退所後の進路について
 - ：進路、支援体制、困ったこと
 - (3) 施設入所中の振り返りについて
 - ：入所中に身についたこと、施設経験で役立ったこと
 - (4) 現在の生活について
 - ：就労の有無、就労形態（正規・非正規など）
 - (5) 就労について
 - ：就労期間、転職経験及び転職理由、就労への不安
 - (6) 学校について
 - ：進学にあたり得られた支援、苦勞していること
 - (7) 困っていることや悩みについて
 - ：現在困っていることや悩み、相談相手
 - (8) 退所後の交流について
 - ：施設との交流の有無、必要な支援

4. まとめ ……5 分
 - ・言い忘れがないかなどの確認

実施日：

回答者：

質問者：

(1) 回答者の属性について 【Ⅰ－②、③、④】 ★

① 年齢 _____ 歳

② 退所時期 _____

③ 入所期間 _____ 年間

(性別： 男性 ・ 女性 ・ その他)

(2) 退所後の進路について ★

① 退所後の進路 _____ 就労自立 ・ 進学自立 ・ その他 【Ⅱ－⑥】

(進路の具体的内容など)

② 退所後の進路や生活について相談できたか 【Ⅱ－⑦】 ★

十分相談できた ・ だいたい相談できた ・ 相談できたが不十分 ・ 全く相談できなかった ・ その他

③ 入所中の相談相手 【Ⅱ－⑧】 ★

④ 退所直後に困ったことと、その際の相談相手 【Ⅱ－⑨、⑩】 ★

《困ったこと》

《相談相手》

(3) 施設入所中の振り返りについて

① 施設等入所中に身についたこと 【Ⅱ－⑪】 ★

② 施設等での経験したことが退所後の生活で役立っているか 【Ⅱ－⑫】 ★

大いに役立っている・少し役立っている・どちらともいえない・あまり役立たなかった・全く役立たなかった・その他

(4) 現在の生活について

① 現在就労しているか 就労 ・ 就労していない 【Ⅳ－⑰-1】 ★

② 就労の場合（就労形態） ★

正規雇用 ・ アルバイト/パート ・ 自営業/自由業 ・ 専業主婦/主夫 ・ その他

→未就労の場合

(5) 就労について

① 就労期間 【Ⅳ－⑱】

② 転職経験の有無 有 ・ 無 【Ⅳ－⑲-1】

→転職経験ありの場合、その理由 【Ⅳ－⑲-2】

③ 就労に関する現在または将来への不安について 【Ⅳ－⑳】 ★

(6) 学校について

① 最後に通ってた（もしくは現在通っている）学校について 【Ⅴ－㉕-1】 ★

中学校 ・ 高等学校 ・ 専門学校 ・ 高専/短大 ・ 四年制大学 ・ その他

② 退所後に進学するにあたり得られた支援 【Ⅴ－㉖-1】 ★

③ 学校を続ける上で大変だったこと 【Ⅴ－㉗】 ★

(7) 困っていることや悩みについて

① 現在困っていることや悩み 【Ⅴ－㉘】 ★

② 困ったときや悩んだ時の相談相手 【Ⅴ－㉙】 ★

(8) 退所後の交流について

① 退所後に施設等との交流があったか ある ・ ない ・ その他 【Ⅶ－③⑦】★

② 退所にあたり必要と思われる支援について ※支援の有無も含む 【Ⅶ－③⑧】★

以上

《memo》

○児童相談所について（入所までの流れ、入所後の支援、ワーカー増員など）

○「こどもの声をきこう」という取り組みについて

○「里親家庭を増やそう」という動きについて

○みんなが生活していた施設について（小規模化、地域分散化など含む）

インタビューの流れ（案）

1. 自己紹介（事務局）、本日の流れについて ……2 分
 - ・3 年前の調査結果をベースに、回答者自身はどうだったかを質問
 - ・必須回答項目につき始めに質問し、回答者の思いや会話の流れにより掘り下げを行う

2. インタビュー実施の背景 ……3 分
 - ・母子生活支援施設の現状（施設の多機能化の流れ、アフターケアの推進など）
 - ・こどもの権利擁護について

について、まずは説明。回答者から質問や意見表明があれば、以降のインタビュー項目と併せて聞き取りを行う。

3. インタビュー実施 ※項目の詳細は p2 以降 ……4 5 分
 - （1）回答者の属性について
 - ：年齢、退所時期、入所期間
 - （2）退所後の進路について
 - ：相談相手、困ったこと
 - （3）施設入所中の振り返りについて
 - ：入所中に身についたこと、施設経験で役立ったこと
 - （4）現在の生活について
 - ：就労の有無、就労形態（正規・非正規など）
 - （5）就労について
 - ：就労期間、転職経験及び転職理由、就労への不安
 - （6）学校について
 - ：進学にあたり得られた支援、苦労していること
 - （7）困っていることや悩みについて
 - ：現在困っていることや悩み、相談相手
 - （8）退所後の交流について
 - ：施設との交流の有無、必要な支援

4. まとめ ……5 分
 - ・言い忘れないかなどの確認

実施日：

回答者：

質問者：

(1) 回答者の属性について 【Ⅰ－②、③、④】 ★

① 年齢 _____ 歳

② 退所時期 _____

③ 入所期間 _____ 年間

(性別： 男性 ・ 女性 ・ その他)

(2) 退所後の進路について ★

① 入所中の相談相手 【Ⅱ－⑧】 ★

--

② 退所直後に困ったことと、その際の相談相手 【Ⅱ－⑨、⑩】 ★

《困ったこと》

《相談相手》

(3) 施設入所中の振り返りについて

① 施設等入所中に身についたこと 【Ⅱ－⑪】 ★

--

② 施設等での経験したことが退所後の生活で役立っているか 【Ⅱ－⑫】 ★

大いに役立っている・少し役立っている・どちらともいえない・あまり役立たなかった・全く役立たなかった・その他

--

(4) 現在の生活について

① 現在就労しているか 就労 ・ 就労していない 【IV－⑰-1】 ★

② 就労の場合（就労形態） ★

正規雇用 ・ アルバイト/パート ・ 自営業/自由業 ・ 専業主婦/主夫 ・ その他

→未就労の場合

(5) 就労について

① 就労期間 【IV－⑱】

② 転職経験の有無 有 ・ 無 【IV－⑲-1】

→転職経験ありの場合、その理由 【IV－⑲-2】

③ 就労に関する現在または将来への不安について 【IV－⑳】 ★

(6) 学校について

① 最後に通ってた（もしくは現在通っている）学校について 【V－㉔-1】 ★

中学校 ・ 高等学校 ・ 専門学校 ・ 高専/短大 ・ 四年制大学 ・ その他

② 退所後に進学するにあたり得られた支援 【V－㉕-1】 ★

③ 学校を続ける上で大変だったこと 【V－②⑦】 ★

(7) 困っていることや悩みについて

① 現在困っていることや悩み 【V－③④】 ★

② 困ったときや悩んだ時の相談相手 【V－③⑤】 ★

(8) 退所後の交流について

① 退所後に施設等との交流があったか ある ・ ない ・ その他 【VII－③⑦】★

② 退所にあたり必要と思われる支援について ※支援の有無も含む 【VII－③⑧】 ★

以上

《memo》

里親・ファミリーホームで生活している中学校を卒業された皆さまへ

「生活アンケート」へのご協力をお願い

大阪市では、里親・ファミリーホームで生活する中学校を卒業された方々から、退所（自立）へ向けて準備する頃に必要とするサポートや、現状の生活に対して感じていることなどのご意見をアンケート形式で直接お伺いし、その内容をもとに、大阪市の社会的養育にかかる計画「大阪市社会的養育推進計画」を策定しようと考えております。そのため、本アンケート調査へのご協力をお願いします。

1 アンケートへご協力をお願いする方

- ① 令和元年11月1日現在、里親・ファミリーホームにおいて生活している中学校を卒業された方
かつ
- ② 大阪市（南部）こども相談センターが担当している方

2 アンケートの回答にあたって

- ・ アンケートの回答は、当てはまる番号に○をつけてください。○は一つの場合と、あてはまるものすべてに○をつける場合があります。
- ・ アンケートにご回答いただいた内容は、個人が特定されないよう、統計的に集計するとともに、自由記述は個人情報を除いてまとめたうえ、大阪市社会的養育推進計画に記載します。計画は、来年3月頃、大阪市ホームページに掲載します。
- ・ アンケートへご記入くださいましたら、同封したアンケート返信用封筒に入れて、11月15日（金）までにポストに投函してください。

【アンケートについての問い合わせ先】

大阪市こども青少年局子育て支援部こども家庭課 小池

住所：〒530-8201 大阪市北区中之島1丁目3番20号

電話：06-6208-8032 FAX：06-6202-6963

生活アンケート（令和元年11月1日時点でお答えください）

I あなたについて

- ① あなたの年齢をお答えください。

_____ 歳

- ② 里親・ファミリーホームでの生活期間についてわかる範囲でお答えください。

・現在生活している里親・ファミリーホームでの生活期間をお答えください。	_____ 年
・ほかの施設（里親含む）にも入所していた場合、その期間も合わせると何年ですか？	_____ 年

Ⅱ 現在の生活について

③ 今の生活に満足していますか。（〇は一つ）

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
・満足しているか	1	2	3	4	5

④ 現在困っていることについてお答えください。（あてはまるものすべてに〇）

1 生活全般の不安	9 学校の人間関係に関すること
2 将来のこと	10 勉強に関すること
3 食事の用意（料理）に関すること	11 学校の費用に関すること
4 経済的な問題に関すること	12 友人関係について
5 心や体の健康のこと	13 恋愛（彼氏・彼女）について
6 家族、親族のこと	14 孤立していることや孤独なことについて
7 里親・ファミリーホーム職員との関係	15 とくに困っていることはない
8 就職（職探し）のこと	

⑤ 困ったときや悩んだとき、相談する相手は誰ですか。（あてはまるものすべてに〇）

1 親・保護者	10 学校等の先生
2 親戚・きょうだい	11 学校やアルバイト先の先輩
3 里親・ファミリーホーム職員	12 医師
4 前の施設（里親含む）の職員	13 弁護士
5 里親・ファミリーホーム内の友人や先輩	14 アフターケア事業部
6 里親・ファミリーホーム外の友人 （ネットで知り合った人を除く）	15 施設・里親で育った経験のある当事者の団体 （CVV 等）
7 ネットで知り合った友人	16 その他（ ）
8 彼氏・彼女	17 誰にも相談していない
9 こども相談センター等公的機関の担当者	18 （相談したいけれど）相談できる人がいない

⑥ 悩みを相談した結果についてお答えください。（〇は各項目につき一つ）

	はい	いいえ	どちらともいえない・ 相談していないので わからない
・自分の考えや気持ちの整理がついた	1	2	3
・就職先・進学先を選ぶこと、仕事や学校を 続けることの参考になった . . .	1	2	3
・自分の決断の決め手になった	1	2	3
・自分の考えが広がった	1	2	3
・将来像が具体的になった	1	2	3
その他			

⑦ 携帯電話・スマートフォンを持っていますか。（あてはまるものすべてに〇）

1 持っている	2 持っていない
	
「1 持っている」場合、使用料は誰が支払っていますか。	
1 あなた自身	3 親もしくは親族
2 里親・ファミリーホーム	4 その他（ ）

Ⅲ 学校について

⑧-1 あなたが最後に通っていたもしくは現在通っている（休学中を含む）学校はどれですか。（○は一つ）

- | | |
|--------|--------------|
| 1 中学校 | 4 高等専門学校 |
| 2 高等学校 | 5 短期大学・4年制大学 |
| 3 専門学校 | 6 その他（ ） |

⑧-2 ⑧-1の学校に現在通っていますか。（○は一つ）

- | | |
|-----------|----------|
| 1 現在通っている | 3 中途退学した |
| 2 すでに卒業した | 4 休学中である |

⑨ 学校を続けるうえで大変だと感じることをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 学習内容が難しい | 5 学校の教員との人間関係 |
| 2 学費が高い | 6 心身のストレス・病気 |
| 3 アルバイト等との両立 | 7 その他（ ） |
| 4 学校の友人との人間関係 | 8 特に大変と感じることはない |

⑩-1、⑩-2は中途退学したことがある方にお尋ねします。

⑩-1 中途退学した学校についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------|--------------|
| 1 高等学校 | 4 短期大学・4年制大学 |
| 2 専門学校 | 5 その他（ ） |
| 3 高等専門学校 | |

⑩-2 中途退学した理由についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 学習の内容やレベルが合わなかった | 5 学校の教員との人間関係 |
| 2 学費等教育費の負担が大きかった | 6 心身のストレス・病気 |
| 3 アルバイト等との両立ができなかった | 7 他にやりたい仕事・学業等があった |
| 4 学校の友人との人間関係 | 8 その他（ ） |

⑪ 学校に通っていない方にお尋ねします。機会があれば再度進学したい、あるいは進学しなおしたいと考えたことがありますか。（○は一つ）

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| 1 高校に行きたい・行きなおしたいと考えたことがある | 3 考えたことはない |
| 2 専門学校、高等専門学校に行きたい・行きなおしたいと考えたことがある | |

Ⅳ 現在、または将来について

⑫ これからの進路について、ある程度決まっている、もしくは、決まった希望がありますか。（○は一つ）

- | | 決まっている | 決まっていない |
|-------------------------------|--------|---------|
| ・進路が決まっているか（希望があるか） | 1 | 2 |

⑬ 働くことに関して、現在、または将来不安に感じることはありますか。（○は各項目につき一つ）

- | | とても不安 | どちらかといえば不安 | あまり不安ではない | 全く不安ではない |
|----------------------------|-------|------------|-----------|----------|
| ・仕事が続けられるか | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ・仕事にやりがいを感じられるか | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ・職場での人間関係がうまくいくか | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ・働く先の将来はどうか | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ・何歳まで働けるのか | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ・リストラされないか | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ・十分な収入が得られるか | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ・転勤はあるか | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ・仕事と家庭生活が両立できるか | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ・健康・体力面がもつか | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ・就職できるのか | 1 | 2 | 3 | 4 |

V 退所に向けた進路決定について

⑭ 進路について主に相談する人は誰ですか。

1 親・保護者	10 学校等の先生
2 親戚・きょうだい	11 学校やアルバイト先の先輩
3 里親・ファミリーホーム職員	12 医師
4 前の施設（里親含む）の職員	13 弁護士
5 里親・ファミリーホーム内の友人や先輩	14 アフターケア事業部
6 里親・ファミリーホーム外の友人 （ネットで知り合った人を除く）	15 施設・里親で育った経験のある当事者の団体 （CVV 等）
7 ネットで知り合った友人	16 その他（ ）
8 彼氏・彼女	17 誰にも相談していない
9 こども相談センター等公的機関の担当者	18 （相談したいけれど）相談できる人がいない

⑮ ⑭の人に十分相談できていますか。

1 十分相談できている	3 相談はできたが不十分
2 だいたい相談できている	4 まったく相談できていない

⑯ 里親・ファミリーホームでの生活中に身についたと思うものについてお答えください。 （あてはまるものすべてに○）

1 基本的な生活習慣	10 役所での手続きの仕方
2 勉強・学習の習慣	11 仕事の探し方
3 掃除、洗濯	12 社会生活上の基本マナー・ルール
4 食事の用意（料理）	13 テーブルマナー
5 物の管理や修理の仕方	14 ビジネスマナー
6 金銭管理・銀行等の利用の仕方	15 悪徳商法などからの自己防衛方法
7 携帯電話やインターネットの安全な利用の仕方	16 コミュニケーションのとり方
8 保健・医療の知識、病院の利用の仕方	17 その他（ ）
9 交通機関の利用の仕方	18 とくに身についたものはなかった

VI 退所にあたって

⑰ 里親・ファミリーホームからの退所にあたって必要と思われるサポートについてお答えください。 （あてはまるものすべてに○）

1 生活について相談できるところ	6 里親・ファミリーホーム職員等からの精神的なサポート
2 仕事について相談できるところ	7 食事等生活面へのサポート
3 対人関係について相談できるところ	8 その他のサポート
4 就職や進学への経済的援助	9 サポートはとくに必要ない
5 住居を確保するためのサポート	

質問は以上で終わりです。ご協力いただきありがとうございました。
同封しました返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。